

令和4年度（令和5年度実施）事務事業評価表

事業整理番号 0905 - 22

事務事業名	区立保育園午睡チェック機器の導入事業	担当組織	子ども家庭部	保育課
-------	--------------------	------	--------	-----

事業特性										
事業を構成する予算事業	事業開始年度	3年度	事業終了年度		計画／一般	一般	計画事業No.			
	単独／補助	区単独事業	運営形態	一部業務委託	関連するSDGsのゴール	3	4	8	9	
	① 区立保育所管理経費・維持管理経費				②					

政策体系（令和4年度基本計画）			
地域づくりの方向	子どもを共に育むまち	政策	子ども・子育て支援の充実
施策	保育施設・保育サービスの充実【重点】	政策番号	4-2-2
関連する個別計画		計画策定年度	計画期間

1. 事業の概要・指標の達成状況

(1)実施の対象（具体的に記載）	区民（主に区立保育園在園世帯）
(2)事業の目的・期待する効果	保育園の午睡時の事故防止及び区立保育園の保育士の負担軽減を図る。
(3)事業概要	保育士の負担を軽減するため、午睡時の児童の呼吸等の確認ができる機器（ベビーセンサー）を区立園（公設公営）に段階的に導入する。

(4) 目標の達成状況	4年度の取組内容（4年度に実施した具体的な業務内容）	令和3年度にモデルとして導入した2園の実施状況を踏まえ、さらに5園において新規に機器を導入した。						
	成果指標（事業目標の達成度）	成果指標	目指す方向性	単位	3年度（実績）	4年度（計画）	4年度（実績）	5年度（計画値）
	① 保育園における午睡中の重大事故	↘	件	0	0	0	100.0%	0
	② 導入後の職員アンケートで機器の必要性に関する設問に対する肯定的な回答の割合	↗	%	88.6	80.0	80.4	100.5%	80.0
指標の説明	①保育園における午睡中の重大事故の件数 ②導入後の職員アンケートで「導入した機器が必要だと感じますか」の設問に対して「そう思う・ややそう思う」と回答した職員の割合							
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由						

(5) 取組実績	活動指標（事業の実施状況）	活動指標	目指す方向性	単位	3年度（実績）	4年度（計画）	4年度（実績）	5年度（計画値）
	① 導入園数	↗	園	2	5	5	100.0%	5
	②							
	③							
指標の説明	区立保育園において午睡チェック機器を導入した園数							
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由						

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）	3年度		4年度			5年度		
	予算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減（R4決算比）	
事業費	A	2,902	1,846	7,201	6,183	85.9%	9,445	3,262
人件費								
【正規（人数）】		—	(0.08)	—	(0.08)		(0.08)	—
【会計年度任用職員等（人数）】		—	(0.00)	—	(0.00)		(0.00)	—
人件費 B	B	—	680	—	680		680	0
事業費（人件費含む）	C=A+B	—	2,526	—	6,863		10,125	3,262
財源内訳								
国、都支出金		0	0	0	0		0	0
使用料・手数料	D	0	0	0	0		0	0
地方債・その他		0	0	0	0		0	0
一般財源	E=C-D	—	2,526	—	6,863		10,125	3,262

3. 総合評価及びR5年度以降に向けての対応・改善策

(1)令和4年度成果と課題	【指標の達成状況(a)】 →S、A、B、C、Dの5段階で評価	A	根拠	段階的に導入を進めており、計画した5園に滞りなく導入した。
	※上記の達成状況を踏まえ、評価及びその根拠を記載してください。 ※以下の欄には、①目標に対する成果結果の課題、②指標以外の数値では測れない効果について記載してください。			
	①目標に対する成果状況を踏まえた課題 当システムは保育園の午睡時の事故防止及び区立保育園の保育士の負担軽減を図ることを目的としているが、主には事故予防に主眼を置いており業務の効率化については実感しにくい。			
②指標に表れない事業の成果(指標以外の成果) 職員の目視による午睡チェックに加えて、センサーにより午睡中の園児の様子を記録するため、職員の心理的負担の軽減に役立っている。				

(2)業務(事務)改善にむけての取組み	【業務(事務)改善に向けての取組み(b)】 S、A、B、Cの4段階で評価 →	A	根拠	これまで紙を前提としていた業務についてシステムを活用した運用に変更した。
	※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※昨年度に何らかの対応、改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。			
	①目標に対する成果状況を踏まえた課題(再掲) 当システムは保育園の午睡時の事故防止及び区立保育園の保育士の負担軽減を図ることを目的としているが、主には事故予防に主眼を置いており業務の効率化については実感しにくい。			
	②現状の実施状況における所管課の認識			

事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択の理由	
直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	有	選択の理由	システム開発業者等へ一部業務を委託して実施している。
サービスに係るコストは適正か	適正	選択の理由	セキュリティを担保しつつシステム運用するには必要な経費である。
統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合)事業名	

③上記①、②を踏まえた所管課の対応実施状況						
対応、改善を既に行った	はい	はい	取組内容及び効果	システムを導入している園の連絡会を定期的に開催し、よりよい運用方法を継続的に検討している。	予算措置	無
対応・改善予定(上記ではい場合は更なる)	無	無	対応、改善の予定がない理由	現段階では運用上の問題は生じていない。		
選択肢に関わらず	対応、改善の内容	有	予算措置	有	予算措置を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由
						予定時期

(3)必要性/優先度	【区が実施する必要性(c)】 S、A、B、Cの4段階で評価 →	A	根拠	区が運営する保育施設である。																							
	※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「区の他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。																										
	①区が実施する理由(複数選択可)																										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"><input type="radio"/> 区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック</td> <td style="width: 50%;"><input type="radio"/> 法律の要請を受けて行う事業である。</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 民間事業者等に同様のサービスがない。</td> <td><input type="radio"/> その他(理由) 区直営施設での事業である</td> </tr> </table>				<input type="radio"/> 区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	<input type="radio"/> 法律の要請を受けて行う事業である。	<input type="radio"/> 民間事業者等に同様のサービスがない。	<input type="radio"/> その他(理由) 区直営施設での事業である																			
<input type="radio"/> 区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	<input type="radio"/> 法律の要請を受けて行う事業である。																										
<input type="radio"/> 民間事業者等に同様のサービスがない。	<input type="radio"/> その他(理由) 区直営施設での事業である																										
②区民ニーズ																											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">区民ニーズを表す指標</td> <td style="width: 15%;">無</td> <td style="width: 10%;">有</td> <td style="width: 15%;">指標番号(活動)</td> <td style="width: 15%;">指標番号(成果)</td> <td style="width: 15%;">サービス利用者数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>「有」「無」</td> <td></td> <td>推移</td> <td>推移</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="6">ともに記入</td> </tr> <tr> <td>区民ニーズに対する認識</td> <td colspan="5">保育園における事故防止に関するニーズは高い</td> </tr> </table>				区民ニーズを表す指標	無	有	指標番号(活動)	指標番号(成果)	サービス利用者数		「有」「無」		推移	推移		ともに記入						区民ニーズに対する認識	保育園における事故防止に関するニーズは高い				
区民ニーズを表す指標	無	有	指標番号(活動)	指標番号(成果)	サービス利用者数																						
	「有」「無」		推移	推移																							
ともに記入																											
区民ニーズに対する認識	保育園における事故防止に関するニーズは高い																										

総合評価(d=a+b+c)	ランク1
---------------	------

4. R5年6月末時点の状況

①令和5年度当初の課題・ニーズ	令和3年度2園、令和4年度5園がすでに導入しており、令和5年度はさらに5園が新規導入の予定である。新規の導入は、各園の状況も踏まえて、事業者と調整のうえ導入する必要がある。また、すでに導入している園はさらなる活用方法の検討が求められる。
②国・都の動き（関係法令の改正・補助金の創設・方針の変更など）	保育施設における午睡チェック機器はこれまで民間保育施設が対象とされていたが、令和4年度に創設された補助金により区立保育園も対象になった。
③令和5年度の方向性・取組方針（事業展開）	既導入園におけるさらなる活用方法を検討しながら、運用保守を行う。さらに、未導入9施設のうち5園で新たにシステムを導入する。
④令和5年度の事業進捗状況（6月末時点）	既導入園及び今年度導入対象園の職員を中心に連絡会を1回開催。今年度拡大対象園の導入スケジュールの確認や、既導入園における運用上の課題の共有等を実施。
⑤区民等からの事業に対する意見・要望	昨今、保育施設における重大事故や不適切な保育に関する報道等が相次いでおり、保育所においてはこれまで以上に設備・運営面での安全対策が求められている。
⑥上記⑤に対する対応	既導入園および令和5年度導入対象園の職員を中心としたICT活用検討会において、運用上の課題等を共有しさらなる活用に向けた検討を継続的に行っている。

事業実施フロー図	別添（事業実施のフロー図を提出してください。）
----------	-------------------------

今後の事業費予算要望(e)	現状維持	根拠	令和5年度に5園拡大以降は、施設改修等が済んだ施設に順次導入する予定。
---------------	------	----	-------------------------------------

今後の事業の方向性(d+e) (現状の評価および施策評価を踏まえた評価)	A:現状維持
---	--------

《上記判断を踏まえた所管課の認識・R5年度以降に向けての対応》

当システムは、別途進めているICTシステムの導入と併行して進めており、令和5年度末時点で区立16園中12園で導入完了予定である。令和6年度以降も引き続き未導入の施設への拡大を進め、区立保育園全園への導入を目指す。